

かわさき区の宝物シート

宝物No.	かわさきあわおどり
1-22	かわさき阿波おどり

エリア	中央地区	シーズン	秋
	川崎駅前北	日時	10月

目的	<input type="checkbox"/> 観る	<input checked="" type="checkbox"/> 遊ぶ・体験する
	<input type="checkbox"/> 食べる	<input type="checkbox"/> その他

宝物定義	<input type="checkbox"/> ものづくり	<input checked="" type="checkbox"/> イベント・祭り
	<input type="checkbox"/> 味づくり	<input checked="" type="checkbox"/> にぎわい
	<input type="checkbox"/> 現代の文化的なもの	<input type="checkbox"/> 港めぐり
	<input type="checkbox"/> 歴史的なもの	<input type="checkbox"/> 人物



写真提供：かわさき阿波おどり実行委員会

所在地	JR川崎駅東口一帯
問い合わせ	かわさき阿波おどり実行委員会
TEL	044-222-9111
FAX	044-222-9111
E-mail	awaorori@kawasaki-ginza.com
URL	http://www.kawasaki-awaodori.com
交通	JR川崎駅東口・京急川崎駅より徒歩1分



基礎情報

- 毎年10月上旬土曜日に、JR川崎駅東口一帯にかけて盛大に開催される川崎の秋の風物詩。駅前周辺の商店街を子供連・地元連などが「よしのこ」のリズムにのって、練り歩く。
- 参加団体は地元の商店会、隣接する横浜市や大田区の有志団体など。宮前小学校や第一ひかり幼稚園の児童・園児だけの連が結成されているのは川崎だけといわれている。
- 昭和61年(1986)に開始したのち、徐々に参加団体が増加。現在では10以上の連が毎年華麗な踊りを披露し、通りを賑わせている。地元の市民が「誰でも参加できるように」と結成し、初回より参加して「ぎんぎん連」、川崎区役所などの職員で組織し、かわさき阿波踊りのベテランからビギナーまで、多種多様な面々を揃えた「川崎きさわか連」などの地元川崎発の連や、大田区役所の職員有志でつくる「大田区役所くすのき連」等、毎年様々な連が参加している。

由来・エピソード

- 阿波おどりの発祥は今から400年以上前の四国の徳島にあるといわれ、足運びの美しい華やかな「女踊り」と力強く豪快な「男踊り」、そして自然と身体が動き出す軽快な鳴り物の音色が観客の心を躍らせ魅了する伝統行事。現在の形になったのは江戸時代後期であるといわれている。川崎の阿波おどりのきっかけは昭和45年頃の「商業まつり」。何かをやりたいたと、東京・阿佐ヶ谷の阿波おどりを見学に行き、教をを請い、マイクロバス仕立てで一から習いに通ったという。阿佐ヶ谷でも自分達より街の規模の大きい川崎に教えてしまってもよいのか、観客が移ったらどうするんだ、と相当議論したそうである。そして様々な事情により中断するも、昭和61年(1986)から「かわさきテクTecまつり」への協賛イベントとして、かわさき阿波おどりが正式にスタートしたのである。
- 平成6年(1994)の第9回市政70周年記念大会からは「かわさき阿波おどり実行委員会」が組織された。本場徳島など毎年全国の強豪連を招待したり、近隣都県からのゲスト連を呼ぶようになって、いっそうの盛り上がりで地元への定着が実感できるようになったという。

補足・その他

- 歴代連一覧(50音順)
- 【参加連】あぜりあ連・天野屋連・岡田屋モアーズ連・川崎きさわか連(川崎区役所わいわい連)・川崎商工会議所連・川崎信用金庫連・川崎西武連・川崎BE連・川崎フロンター連・河原町1号棟連・教文連・ぎんぎん連(駅前商連連)・銀行連・こみや連・さいか屋連・市職連・第一ひかり幼稚園連・田原屋連・戸手中部女舞連・日本航空連・ハクビ連・ペリカン連・丸井・ルフロン連・みやこ連・宮小地域連・宮前子ども連
- 【ゲスト連】大田区役所くすのき連・埼玉葵連・川崎銀杏連・高円寺写楽連・高円寺天水連・港北阿波踊り連名(綱島連)・小金井さくら連・下北沢やっこ連・多摩川丸子連・東京えびす連・徳島八千代連・いきいき連・相州大和あずま連・舞龍連(おどりっこ)・ほおずき連・乙奴連(オドレン)・三茶連・鳳連・南粒連・湘南なぎさ連・燦々(さんさん)・みたか・はむら連

関連シート

- (1-21)アゼリア・宇宙カプセル
- (1-23)銀柳街・銀座街